

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業フェローONE			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通所が可能であるため、活動を通して子どもの発達について理解を深めてもらうことができる。また、保護者さんの相談に乗る時間もしっかり確保できている。	活動の中で、保護者さんとお話ができる時間を毎回確保しています。また、活動を通しての子どもの様子や、保護者と話したことを丁寧に記録しています。	保護者支援力の向上を目指して、外部研修等で学べる機会を積極的につくり参加していきます。
2	同法人内に放課後等デイサービスや就労系事業所があり、子どもの就学後についてのサポートができる。	必要なお家庭に向けて、放課後等デイサービスの説明、見学の調整を行なっています。ご相談いただいたご家庭には、相談員さんとの契約もサポートし、就学後に向けての情報共有等も丁寧に行えるよう取り組んでいます。	就学支援の知識をスタッフ全体でも習得していき、より保護者にとって分かりやすいサポートに改善していきます。
3	職員の資質の向上を図るための機会が多い。定期的な社内研修の実施や外部研修にも自由参加ができ、自己研鑽ができる。	できるだけ複数名で参加し、学びを事業所に取り入れやすいよう意識しています。また、参加できなかった職員とも共有できるよう、研修報告書の作成や落とし込みの時間を設けています。	今後も積極的に資質向上のための機会を増やします。また、児童発達支援センターからの助言や学びを受けられる機会を作っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちが集団活動で経験が積める機会が少ない。	利用児童の人数がまだ少なく、集団活動を通して得られる経験が提供できていない。開所から浅く、地域の皆さんにも充分事業所の事を知ってもらえていない現状がある。	地域の園や関係機関の皆さんとの連携を深め、事業所としての資質を向上させながら成長を図っていきます。利用日の提案なども積極的に行い、ご利用者にとっての最善を考えていく。
2	マニュアルや安全計画について、定期的な周知ができておらず分かりにくい状況になっている。	職員の避難訓練は定期開催できているが、利用者さんを巻き込んだ実施ができていません。その他マニュアルについても契約時の説明と掲示のみになってしまっている。	今後は活動にうまく組み込み利用者さんにも参加をしてもらう。または活動報告がご家庭にも届くようにしていきます。また、マニュアルについても定期的に見直し、モニタリング時などの説明にも活用します。
3	保護者向けの勉強会など、直接保護者が学べる家庭支援の機会が設けられていない。	日々の運営や季節のイベント（子ども向け）開催と比べて、自分たちに勉強会開催のノウハウや実績がないため、事業所単体で動きにくい現状がある。	自法人内の他部署（放課後等デイサービス）とも連携し、合同で親御さんの学びの機会を作っていく。また、他法人さんやセンターが実施している保護者参加可能な研修などの情報も集め、一緒に参加から始めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業フェローONE

公表日 令和8年2月16日

利用児童数 令和7年12月31日時点 5家庭

回収数 5

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	0	0	0	十二分に対応していただいている状態で、子供もいつも楽しそうです。	急なお休みもフォローしやすい体制を社内で整え、適切な職員数を確保します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	0		一部、お子さんにとって気になる（分かりにくい）構造になっている設備があるので、備品の買い替えなどを検討し改善
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	0	その時の子供の気持ちに寄り添って活動を進めていただけていると感じます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	1	0		単発的なイベントでしか交流を図れていないので、より改善するための案だしを職員会議で行なっています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	0	0	1	子供に対しての対応方法を相談させていただいたり助かっています。	家庭支援力向上のために、ペアトレについて職員側の学ぶ機会も増やし、情報提供から行なっています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	5	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	0	0	イベントに他の兄弟も一緒に参加させていただけたいです。	今後も家族支援、きょうだい支援にも力を入れて活動の企画を行なっています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	1	0		職員、ご家族への周知が足りていないので、掲示や契約時の説明以外の部分での活用を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	1	1		ご利用者を交えた訓練の経験が少ないので、今期の活動に取り入れていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		ご家族にとって、見えづらい・分かりづらい状況になっているので、周知を今期は強化していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0	いつも楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0	丁寧に相談に乗っていただけて、とてもありがたいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月16日				
児童発達支援事業フェローONE						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペース確保の為、活動に合わせて備品等の移動を行なっています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			急なお休みもフォローしやすい体制を社内を整え、適切な職員数を確保します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さんが落ち着いて活動に参加できるよう、視覚支援や環境設定について相談しています。	一部、お子さんにとって気になる（分りにくい）構造になっている設備があるので、備品の買い替えなどを検討し改善します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の掃除以外にも、定期的な大掃除を設けて備品の整理をしました。	不要なものは処分するなどして、すっきりと分かりやすく整理整頓できている空間を心掛けます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		現在の利用児さんはあまり使うことがありませんが、クールダウンできる為のスペースを作っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の支援において、具体的な目標設定と評価に全職員さんに参加してもらっています。内容について記録を通して共有・相談しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートの実施し、いただいた意見を参考にさせてもらっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の申し送りに加え、毎月職員会議を行い、そこで出た意見を元に業務や支援内容の改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在行なっておりません。	第三者評価の予定は現在ありませんが、行政からの指導内容など参考にしながら業務管理・改善を目指します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修や連絡協議会へ積極的に参加ができています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、HPにて公開をしています。	プログラム内容がマンネリ化していないか定期的な見直しを行います。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用時の振り返りにて聞いた保護者の話や、子どもの様子を細かく記録し計画作成に活かしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員会での共有と、いつでも見返しやすいような管理をしている。	日々の支援の中により計画を運動させて行くために、全員で見返す機会を設けたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ボーテジプログラムを活用しての発達段階の評価と合わせて、職員から見ての行動観察記録をしっかりと残している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		パートさんにも積極的に計画立案に参画してもらい、活動プログラムを立てて実施しています。	今後職員の入れ替えもある為、今の流れがそのまま継続できるよう引継ぎやサポートを行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		新しい活動の為のアイデアを収集して各自共有しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		本人の状況に合わせて、活動計画を作成したり、利用日の提案も行なっています。	集団での経験を積める機会が少ない現状があります。グループ活動ができるよう事業所の成長を目指していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日担当する職員間で申し送りを徹底して行なっています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日の振り返りを担当した職員で行なっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		各自の活動記録を利用の度に細かく丁寧に残しています。	職員の負担も掛かり過ぎない内容・量に改善できるよう、見直しを行いながら継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1度のモニタリングを行い、支援計画の作成・見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		代表者が参加する前にも、職員全員から対象児童の状況について意見出しを行った上で事業所としての見解をまとめています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		今年は行政の方やセンターの方にも事業所に足を運んでいただく機会をいただき、情報交換や相談ができました。	地域の現状について、まだ理解が足りない所があるので、事業所からも積極的に相談し連携を図っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就園児童の通う園には定期的な連絡や訪問を行なっています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	保護者にプロフィールシート（当事業所でみた本人の資質や今後の課題のまとめ資料）を作成しお渡ししていますが、直接学校への共有ができていません。	今後は、事業所としても就学移行に関わっていけるように、対象児童の進学先と連携をとっていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		今年は担当エリアのセンターの方に事業所に足を運んでいただき、支援の様子を見てのアドバイズや見解をいただくことができました。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		単発的なイベントでしか交流を図れていないので、より改善するための案だしを職員会議で行なっています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の利用時に保護者の方との振り返りの場をしっかりと設けることができています。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家庭支援力向上のために、ペアトレについて職員側の学ぶ機会も増やし、情報提供から行なっていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時に説明し、不明点がないか確認をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		通所時にしっかりと時間を設けながら、丁寧な聞き取りを心がけています。	子ども本人の意向を、より汲みとりながら計画作成できるように質を向上していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画作成の際やモニタリングの時には計画を提示しながらお話を進めています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎回の利用時に保護者の方からの相談に乗れる時間を設けることができています。	相談に対して最適な対応や回答ができる為の職員の資質向上を目指し、研修等の機会を増やしていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的なイベント開催の中で、保護者同士の茶話会やきょうだい児にも参加してもらえる内容に取り組んでいる。	保護者交流をメインの目的とした活動にはまだ取り組めていないので、実施を計画していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談事項は、すぐに職員全体で共有し、できる対応を行なっています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramを通じて、活動の様子を発信させてもらっています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類は鍵付きロッカーに保管しています。写真の掲載等も個人情報公開の希望に基づき判断しています。	他機関間での移行の際は情報提供承諾書をいただくなど確認・徹底していきます。

非常時等の対応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		どうすれば分かりやすく相手に伝わるのか、相手の気持ちも汲み取れるのか、個別のケースにも丁寧に対応していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		弊社が行う秋祭りにて、親子広場のブースを運営。絵本の読み聞かせや親子遊びを実施しました。	今年は地域向けのイベント頻度が少なかったので増やしていく。助成金の活用なども目指していく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル、BCPを法人として作成し運用しています。	職員、ご家族への周知が足りていないので、掲示や契約時の説明以外の部分での活用を検討します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的な防災訓練(年2回)を実施しています。	ご利用者を交えた訓練の経験が少ないので、今期の活動に取り入れていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時の聞き取りやフェイスシートにて状況確認を行なっています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に聞き取りを行なっています。	現在対象者がいませんが、今後出てきた先には指示書の情報もきちんと確認を取って対応します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理のための研修を社内ですべて定期的に実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		ご家族にとって、見えづらい・分かりづらい状況になっているので、周知を今期は強化していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日々起きた心配事は、その日の振り返りや月次の部署会議にて共有し、記録しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置しており、職員全体での研修機会があります。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		個別支援計画への記載及び、契約時にも具体的なケースについて説明を行なっています。	